

## 第2回スポーツ環境会議の要点について

平成 26 年 2 月 25 日

13 : 30 ~ 15 : 00

新宿コズミックセンター3 階 小会議室

### 出席者

間野義之（学識経験者）、今泉清隆（区体育協会）、阿部正幸（区スポーツ推進委員協議会）、小菅知三（区レクリエーション協会）、松永健（区町会連合会）、太田原武（区高齢者クラブ連合会）、徳堂泰作（区障害者団体連絡協議会）、大塚フジエ（区青少年育成委員会）、矢崎礼子（区小学校 PTA 連合会）、遠藤通郎（区中学校 PTA 協議会）、菊池勇志（区内スポーツ関連事業者）、関口美緒（公募委員）、藤原千里（公募委員）

杉原純（新宿未来創造財団等担当部長）、西方祐子（障害者福祉課長）、齊藤正之（高齢者福祉課長）、大野哲男（子ども家庭課長）、矢澤正人（健康推進課長代理）、吉川洋志（みどり公園課長）、吉村晴美（教育調整課長）、遠藤剛（生涯学習コミュニティ課長）

### 事務局(生涯学習コミュニティ課)

林主査、石塚主事

#### 1 開会

#### 2 生涯学習コミュニティ課長あいさつ

#### 3 「新宿区スポーツ環境整備方針(素案)」のパブリック・コメントの結果について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

#### 4 意見交換(要旨)

##### (1) 地域スポーツクラブについて

- ・「地域スポーツ文化事業」において各地区に「地域スポーツ文化協議会」を設置しているが、「地域スポーツクラブ」の立ち上げを含めた今後のあり方について、「スポーツ環境会議」の中で検討を進めて行くことが必要である。
- ・自主自立的な「地域スポーツクラブ」を立ち上げるには、5つの条件が必要である。(①法人格を取得する、②公共施設の指定管理者となり管理運営に当たる、③トップアスリートを活用する、④サッカーくじの助成金を活用する、⑤クラブマネージャーを設置する、)
- ・「地域スポーツクラブ」の立ち上げの際は、クラブを立ち上げることによって地域が将来的にどう良くなるという目的や理念を地域住民と共有して、自分たちの地域の特色に合ったクラブを立ち上げ

ていくことが重要である。

- ・新宿区でも東京都のようにスポーツ情報を積極的に提供できるシステムを確立することを検討してほしい。

## **(2) トップアスリートとの交流について**

- ・東京都は、地域スポーツクラブの支援を通じて、将来的にトップアスリートが地域の子ども達に生でスポーツ指導ができる仕組みを考えており、新宿区内でも各主体によってトップアスリートが招聘され、イベントが実施されている。(一昔前までは、スポーツは「タダ」という認識が強かったが) トップアスリートが地域で貢献していくためにも、今後はスポーツに対しても学習塾等と同じように、スポーツ指導への対価として、より一層、お金を支払うという受益者負担意識の醸成が不可欠である。

## **(3) 子どものスポーツについて**

- ・子どもの体力低下について、時間と場所がないことが問題であり、義務教育である学校教育の中でより一層、意図的に確保することが重要である。
- ・スポーツを通じた国際交流をもっと深めることを検討してほしい。
- ・実施種目を限定し、普及させていくことも、スポーツの普及・振興の手法である。
- ・区内大学施設等の活用も視野に入れた場所の確保を検討してほしい。

## **(4) 高齢者のスポーツについて**

- ・各主体によって「新宿いきいき体操」の普及啓発が行われており、その中で「ストレッチ」・「筋力アップ」・「歌」等を取り入れ、高齢者が楽しめるように普及啓発が行われており、今後も充実を図っていくことが必要である。

## **(5) 障害者のスポーツについて**

- ・パラリンピックは基本的には身体障害者を対象としており、今後は知的障害や精神障害など様々な障害の方を含めた障害者スポーツ施策の普及啓発をしていくことが必要である。
- ・障害者スポーツを推進していくには、障害特性をしっかりと理解・把握した人材を確保する等の受け入れ体制を整えていくこと必要があり、行政側からも人材派遣等についての情報を提供していくことが必要である。

## **(6) 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて**

- ・オリンピック・パラリンピックをスポーツの推進だけと捉えるのではなく、2020年を見据えて、高齢者・障害者・子ども・健康等の様々な分野で抱えている諸問題を総合的に解決し、「課題解決先進都市」として東京を世界にアピールしていくことが必要であり、是非、新宿区からオリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツを通じて、諸問題を解決し、区全体の総合力が向上した姿を国内外に発信していくことを期待する。

## (7) 各主管課での取り組みについて(予定)

### 生涯学習コミュニティ課

- ・「戸山公園箱根山地区多目的運動広場」について、整備・運営基本方針の進捗状況を今後も東京都に確認を行う。
- ・新宿スポーツセンターの大体育室について、4階ランニングコースにスポットクーラーの試行導入を検討している。
- ・各スポーツ団体に対する体育施設の優先利用や減免に対する基準の明確化を検討している。

### 新宿未来創造財団

- ・「新宿シティハーフマラソン」について、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えてマラソンコースの見直しを行っており、現コースよりも新宿区内を大きく回れるコースを検討している。

### 障害者福祉課

- ・障害者のスポーツ振興は各関係団体によって、障害者がスポーツを身近に感じられるような取り組み等が行われており、今後は支援も検討していく。
- ・障害者向けにスポーツの普及啓発を行っている自主的な活動団体に対しては、今後も引き続き助成を行っていく。

### 高齢者福祉課

- ・高齢者のスポーツは介護予防の観点から体力を維持していくことが重要であり、これまでも実施している「新宿いきいき体操」の普及啓発を進めており、今後も2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えてさらなる充実を図っていく。

### 子ども家庭課

- ・児童館では、定期的にダンスや一輪車等のクラブ活動的な事業を行っており、指導者の下で日々練習を行うことによって、体幹や体のバランスが身に付けられる機会にもなっている。
- ・区内各地区の青少年育成委員会では、青少年の健全育成活動の一環として、子ども達にスキー教室やキャンプ活動等の様々なスポーツ活動が体験できる機会を提供している。

### 健康推進課

- ・運動不足を解消するため、健康部の「元気館事業」に加え、各主体によって実施されている様々な健康推進事業やスポーツイベント等に参加してもらうよう普及啓発を進めている。
- ・スポーツ教室等で健康づくりに関する色々な情報提供をして、スポーツと健康は極めて関係性が深いということを伝えている。

### みどり公園課

- ・「新宿中央公園」の多目的広場のフットサルコート化を計画している。

- ・「新宿中央公園」は利用者からランニングに対する需要もあるため、公園内に今後距離表示を置くこと等を検討していく。

### **教育調整課**

- ・学校体育について、どのようにしたら基礎体力が付くのかということを課題として捉え、基礎体力が高められるような運動を取り入れている。
- ・身近なスポーツ楽しんで競い合うことで体力を作る「スポーツギネス新宿」という取り組みについて、25年度から小学校だけではなく中学校でも取り入れた。
- ・幼児期から運動習慣を身に付けさせるため、区立幼稚園で体力テストを区独自に実施している。
- ・子どもの居場所づくりとして「放課後子ども広場」事業を全学校で行っており、26年度は新宿養護学校についても、区事業の一環として支援を検討している。

### **5 平成 26 度のスポーツ環境会議について**

- ・9月上旬頃と3月上旬頃の計2回を開催予定としている。
- ・委員について、25年度に引き続きご協力いただくことを確認した。組織変更等があった場合は、改めて当該関係団体に推薦依頼を行う。

### **6 その他**

- ・特になし

### **7 閉会**